

1) 加算回路の原理を説明してみよう

ア) 右の、符号無し整数の足し算を、筆算でやってみよ

$$\begin{array}{r} 1101_2 \\ + 0011_2 \\ \hline \end{array}$$

イ) 1桁の足し算回路を、ハードウェアで作りたい。真理値表を書いてみよ。

ウ) 4桁の足し算回路を、イ)を使って作りたい。接続図を書いて見よ。

2) 引き算 ($X-Y$) を計算する方法を、ビデオではどう説明していたか?

ア) 引き算 ($X-Y$) をどうやって計算するか? それに必要な(追加しなければならない)操作(回路ではなくて)は何か

イ) ア)の追加操作を、回路ではどのように実現したらよいか?

ウ) 足し算も引き算もできるような回路(足し算か引き算かを指示する信号を与えて、指示された演算をする回路)を作るには、どうしたらよいか?

3) (討論課題) 32ビット整数の足し算にかかる時間を考えてみたい。

ただし、1桁の足し算にかかる時間 (1桁の足し算回路ブロックを信号が通過するのに必要な時間、もっと正確に言うと、1桁の足し算回路ブロックに対して、それに対するすべての入力信号が安定したとき、その信号が回路内を伝わって、出力が安定するまでの時間) を T 秒 とする。 T の実際の値は、たとえば 0.01~0.1 ナノ秒程度と考えておこう。

3) シフト演算について考える

(ア) シフトの定義を確認しよう

$10101_2 \ll 3 = \dots\dots\dots_2$ (左シフト)

$10101_2 \gg 3 = \dots\dots\dots_2$ (右シフト)

(イ) (符号なしで考えた時の) シフトの意味を確認しよう (符号ありの場合は、後で考える)

$10101_2 = 21_{10}$

$10101_2 \ll 3 = \dots\dots\dots_2 = \dots\dots\dots_{10} = 21_{10} \times \dots\dots\dots_{10}$

$10101_2 \gg 3 = \dots\dots\dots_2 = \dots\dots\dots_{10} = 21_{10} \times \dots\dots\dots_{10}$

つまり、1ビット左へシフトすることは($\times 2$)に当たり、右にシフトすることは($\div 2$)に当たる

(注意) ここでは \gg を「論理シフト」の意味に使うが、これは Java では正しくない。Java では、論理シフトを $\gg>$ 、(後述する)「算術シフト」を \gg で表すことになっている。

4) (符号なし整数の) 掛け算を、シフト演算を用いて実現することを考える

(ア) 10 進の掛け算(筆算)のやり方を参考にして、(符号なし)2 進数の掛け算(筆算)の手順を書き出してみよ

	0	1	0	1	₂
X	1	0	1	1	₂
<hr/>					

(イ) 手順をプログラムに書き直してみよ。桁ずらしのために(左)シフトを使う。

また、最下位のビットの値を取り出すために、1(=000...01₂)とのビットごとの AND

(&演算子)を使うとよい。たとえば、

$1101011 \& 0000001 \Rightarrow 0000001$

$1101010 \& 0000001 \Rightarrow 0000000$

	1	1	0	1	0	1	1
&	0	0	0	0	0	0	1
<hr/>							
	0	0	0	0	0	0	1

5) (討論問題) 符号付きの整数での、シフトの意味を確認しよう。

3)の(イ)では符号無しの整数についてシフトの意味を考えてみたが、ここでは、符号付きの整数(8ビットの、2の補数表現)で同じことを考えてみる。3)の(イ)と同じ(論理)シフト演算を、符号付の負数に対してやってみる。

$11111000_2 = -8_{10}$

$11111000_2 \ll 3 = \dots\dots\dots_2 = \dots\dots\dots_{10} = -8_{10} \times \dots\dots\dots_{10}$

$11111000_2 \gg 3 = \dots\dots\dots_2 = \dots\dots\dots_{10} = -8_{10} \times \dots\dots\dots_{10}$

つまり、1ビット左へシフトすることは($\times 2$)に当たり、右にシフトすることは($\div 2$)に当たる
 どうだろうか？

この問題を解決するために、「算術シフト」が考案され、使われている。シフトを算術シフトに置き換えて、同じ計算をしてみよう。

$11111000_2 \ll 3 = \dots\dots\dots_2 = \dots\dots\dots_{10} = -8_{10} \times \dots\dots\dots_{10}$

$11111000_2 \gg 3 = \dots\dots\dots_2 = \dots\dots\dots_{10} = -8_{10} \times \dots\dots\dots_{10}$

違いが判るだろうか？